

平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 毎日コムネット

コード番号 8908 URL <http://www.maicom.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 守

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 小野田 博幸

TEL 03-5218-8908

四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第1四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第1四半期	2,517	—	207	—	139	—	80	—
23年5月期第1四半期	2,390	50.6	45	—	13	—	20	—

(注) 包括利益 24年5月期第1四半期 79百万円 (—%) 23年5月期第1四半期 18百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第1四半期	9.23	—
23年5月期第1四半期	2.31	2.31

(注) 当社は、前連結会計年度の決算期変更に伴い、当第1四半期連結累計期間(6月から8月まで)と、比較対象となる前第1四半期連結累計期間(12月から翌年2月まで)の対象期間が異なっております。このため24年5月期第1四半期の連結経営成績(累計)の対前年増減率については記載を省略しております。

(注) 24年5月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第1四半期	10,676	4,026	37.7
23年5月期	10,753	4,042	37.6

(参考) 自己資本 24年5月期第1四半期 4,026百万円 23年5月期 4,042百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	11.00	11.00
24年5月期	—	—	—	—	—
24年5月期(予想)	—	0.00	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,265	—	17	—	△50	—	△16	—	△1.84
通期	9,720	—	570	—	480	—	290	—	33.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成23年5月期より決算期を毎年11月30日から毎年5月31日に変更しており、決算期変更の経過期間となる23年5月期は6ヶ月間の変則決算となっております。このため平成24年5月期の連結業績予想の対前年増減率については記載を省略しております。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年5月期1Q	9,000,000 株	23年5月期	9,458,600 株
24年5月期1Q	309,285 株	23年5月期	767,885 株
24年5月期1Q	8,690,715 株	23年5月期1Q	8,690,739 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、企業収益の改善、個人消費の持ち直しの動きなど緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、当年3月11日に発生した東日本大震災と原子力発電所事故の影響が今後の経済活動や消費動向に及ぼす影響は計り知れず、先行き不透明な状況になっております。

その状況の中、当社グループの主要顧客層である大学生マーケットにおきましては、平成23年春の大学入学者数は61.2万人と過去最高水準を維持しており、大学生総数は289.3万人(文部科学省「学校基本調査」による)と前年を上回り、過去最高を更新しております。引き続き、少子化時代にあっても安定的に推移する大学生市場においては、さまざまなサービス分野において彼等の多様化するライフスタイルとニーズに応える低廉で高品質なサービスが求められていると言えます。

このような市場環境の中で当社グループは、事業の方向性を明確にし、戦略的投資を促進するため、開発部門と学生マンション部門の2部門からなる「不動産ソリューション事業」と課外活動支援部門と人材ソリューション部門の2部門からなる「学生生活支援事業」の2事業(セグメント)計4部門で事業展開を図っております。

特に、景気動向の影響を比較的受けにくい不動産ソリューション事業における学生マンション部門は、ますます高まる学生の安心・快適な住居ニーズに支えられ順調に推移いたしました。また、開発部門においても、販売用不動産の売却が順調に推移いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,517,982千円、営業利益は207,321千円、経常利益は139,942千円、四半期純利益は80,257千円となりました。

① 売上高

当第1四半期連結累計期間の売上高は2,517,982千円となりました。セグメント別には不動産ソリューション事業の売上高は1,811,068千円、学生生活支援事業の売上高は706,914千円となりました。また、部門別では、開発部門は351,428千円、学生マンション部門は1,459,639千円、課外活動支援部門は699,448千円、人材ソリューション部門は7,465千円となりました。

② 営業利益

当第1四半期連結累計期間の不動産ソリューション事業の売上総利益は300,230千円、セグメント利益は158,850千円となりました。また学生生活支援事業の売上総利益は347,513千円、セグメント利益は206,233千円となりました。その結果、各セグメントに配分していない全社費用157,762千円を調整し、全社の当第1四半期連結累計期間の営業利益は207,321千円となりました。

③ 経常利益

当第1四半期連結累計期間の営業外損益はマイナス67,378千円となり、その結果、当第1四半期連結累計期間の経常利益は139,942千円となりました。

④ 四半期純利益

当第1四半期連結累計期間の特別利益に固定資産売却益22,943千円、特別損失に固定資産除却損3,824千円を計上いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の四半期純利益は80,257千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は10,676,195千円となり前連結会計年度末に比べ77,622千円減少いたしました。この減少の主な要因は、現金及び預金が444,221千円の増加、流動資産のその他が107,939千円の増加、販売用不動産が180,981千円の減少及び有形固定資産が443,415千円減少したことによります。

負債合計は6,649,707千円となり前連結会計年度末に比べ61,560千円減少いたしました。この減少の主な要因は、支払手形及び買掛金が177,735千円の増加、短期借入金が80,000千円の増加、流動負債その他が257,892千円の増加、社債が59,200千円の減少、長期借入金(1年内返済予定分を含む)が396,445千円の減少、未払法人税等が103,722千円減少及び固定負債その他が18,378千円の減少したことによるものであります。また、純資産合計は4,026,487千円となり前連結会計年度末に比べ16,061千円減少いたしました。この減少の主な要因は、前期の剰余金の処分による配当金の支払95,597千円及び四半期純利益80,257千円を計上したことによります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度の37.6%から37.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成23年7月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 5 月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年 8 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,914,120	5,358,342
受取手形及び売掛金	25,670	43,765
販売用不動産	1,933,306	1,752,324
貯蔵品	7,993	23,468
その他	472,693	580,633
貸倒引当金	△273	△322
流動資産合計	7,353,511	7,758,211
固定資産		
有形固定資産	1,565,149	1,121,733
無形固定資産	81,999	74,112
投資その他の資産		
その他	1,695,604	1,667,316
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	1,695,552	1,667,264
固定資産合計	3,342,701	2,863,110
繰延資産	57,604	54,872
資産合計	10,753,817	10,676,195
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	108,528	286,263
短期借入金	1,520,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	457,600	500,915
1年内償還予定の社債	354,200	354,200
未払法人税等	200,744	97,021
賞与引当金	30,000	26,860
その他	472,256	730,148
流動負債合計	3,143,329	3,595,409
固定負債		
社債	1,771,000	1,711,800
長期借入金	538,360	98,600
役員退職慰労引当金	181,800	185,460
資産除去債務	17,391	17,428
その他	1,059,387	1,041,009
固定負債合計	3,567,939	3,054,298
負債合計	6,711,268	6,649,707

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	775,066	775,066
資本剰余金	508,820	508,820
利益剰余金	3,075,649	2,878,079
自己株式	△305,126	△122,897
株主資本合計	4,054,410	4,039,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,860	△12,582
その他の包括利益累計額合計	△11,860	△12,582
純資産合計	4,042,549	4,026,487
負債純資産合計	10,753,817	10,676,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)
売上高	2,390,777	2,517,982
売上原価	1,883,274	1,870,237
売上総利益	507,503	647,744
販売費及び一般管理費	462,153	440,423
営業利益	45,349	207,321
営業外収益		
受取利息	1,862	2,007
受取配当金	16	532
持分法による投資利益	7,934	—
経営指導料	—	3,750
その他	773	1,208
営業外収益合計	10,585	7,499
営業外費用		
支払利息	34,097	33,620
持分法による投資損失	—	32,441
社債発行費等	8,781	8,528
その他	43	287
営業外費用合計	42,922	74,878
経常利益	13,013	139,942
特別利益		
固定資産売却益	50,699	22,943
特別利益合計	50,699	22,943
特別損失		
固定資産除却損	—	3,824
減損損失	9,452	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,864	—
特別損失合計	17,316	3,824
税金等調整前四半期純利益	46,395	159,062
法人税、住民税及び事業税	492	94,828
法人税等調整額	25,813	△16,024
法人税等合計	26,306	78,804
少数株主損益調整前四半期純利益	20,088	80,257
四半期純利益	20,088	80,257

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20,088	80,257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,583	△721
その他の包括利益合計	△1,583	△721
四半期包括利益	18,505	79,536
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,505	79,536
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	不動産ソリューション事業	学生生活支援事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,070,813	319,963	2,390,777	—	2,390,777
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,070,813	319,963	2,390,777	—	2,390,777
セグメント利益	168,265	18,955	187,221	△141,871	45,349

(注) 1 セグメント利益の調整額△141,871千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「学生生活支援事業」セグメントにおいて、フットサル施設における資産除去債務を計上したことによる減損損失9,452千円を計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	不動産ソリューション事業	学生生活支援事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,811,068	706,914	2,517,982	—	2,517,982
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,811,068	706,914	2,517,982	—	2,517,982
セグメント利益	158,850	206,233	365,084	△157,762	207,321

(注) 1 セグメント利益の調整額△157,762千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年7月14日開催の取締役会決議により、同日付で自己株式458,600株を消却いたしました。これにより、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ182,229千円減少しております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。